

KORAI REPORT 05

自由民主党大阪府第八選挙区支部 06-6846-3366 06-6846-3390 kourai.jimin@gmail.com
〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚3-10-2-201

衆議院



自民党
www.jimin.jp

大阪府第八選挙区支部長(豊中市・池田市)

こうらい

啓一郎 特集

LINE友達に
なってください

高麗(こうらい) 啓一郎。昭和55年7月9日 大阪府豊中市生まれ。豊中市立桜塚小学校、豊中市立第三中学校、大阪府立豊中高等学校、早稲田大学政治経済学部 卒業。三井住友海上火災保険株式会社を経て、衆議院議員公設秘書。練馬区議会議員一期。豊中市議会議員二期目の令和3年10月、衆議院選挙において53,877票を頂くも落選。(一社)豊中青年会議所シニアクラブ所属、豊中市消防団桜塚分団所属。

暮らしのお困り事、ご意見など、お気軽にお聞かせください。月に2回程度、活動報告等を送信させていただきます！



政治資金の問題に私は一切関与していません

政治と金の問題が起きる度に思います。経済的利益を追求したいならば、起業などをするべきです。政治を使って利益を欲する者が居るならば、その時点で誤りです。金輪際、政治と金の問題を起こさせないためには何をするべきなのかを考えながら、このレポートを作成しました。

何が問題の本質であるのか

言語道断の大問題である事は間違いありません。

しかし、何が問題であるのかが、ぼやけてしまっている様に感じます。派閥、キックバック、ノルマというような言葉が飛び交っていますが、それら自体は問題の本質ではありません(派閥推薦で相応しい能力が無い人が大臣になっている等の議論は有るにしても、それはまた別の問題です)。

今回の問題の本質は、政治資金収支報告書に派閥からのキックバックを収入として記載しない事により、

その政治資金が何に使ったのか分からないブラックボックスと化していた事にあります。

収入を政治資金収支報告書に記載していれば、何に支出したのかを公開する必要があります(後述の通り、非常に不十分はありますが)。しかし、収入に記載をしなければ、その分の金額はプライベートの飲み食いや旅行に使っていたとしても、国民は知る術もありません。その様に使われているならば、その収入は個人所得として税金を払えという国民の怒りはもっともだと私は思います。

今後の政治資金のあり方について①

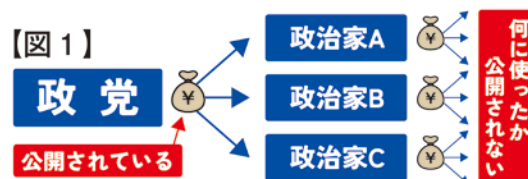
政治資金の収入・支出を1円から見えるように、ガラス張りにするべきです。現状、国会議員関係政治団体は1万円未満の支出は明細が不要で総額の報告で足り、更には領収書の提出も不要です。収入においても20万円以上のパーティー券購入者しか公開されないとなっていたりします。

しかし、この様に民間ではあり得ないような制度が、直接的にもしくは間接的に不正を誘発しているのではないかと考えます。例えば、領収書不要の1万円未満の支出が大量に有ったという偽装をすれば、その政治家の支出を意図的に不透明にするこ

とが可能です。そのように直接的な不正を犯さなくとも、緩い制度が政治家から緊張感を奪い、政治資金と個人資金の峻別が薄くなり、その結果として間接的に不正を誘発しているのではないかと考えます。

今回の事件は、派閥からの収入をそもそも無かったことにしていたため、政治資金を1円からの見える化をしても防げなかった問題かもしれません。しかし、政治資金をガラス張りにして緊張感を持たせることは、最も必要な政治制度改革だと私は考えます。

今後の政治資金のあり方について②



政党から政治家個人への支出を禁止するべきです。

図1をご覧ください。政党が図1のように、政治家個人へ寄付や委託等の名目で支出をすれば、その後、その資金は政治家個人が何に使ったのか公開義務が有りません。自民党だけではなく、立憲民主党、国民民主党、社民党、日本維新の会が政策活動費等の

名目で、政党から政治家個人への支出を行っています(2022年)。

政党が政治家個人へ支出することが可能な制度を続ければ、政治資金の透明性を担保することができません。

したがって、いかなる名目であろうとも、政党から政治家個人への支出は禁止するべきだと私は考えています。

今後の政治資金のあり方について③

政治資金規正法違反の罰則を強化するべきです。

秘書だけが罰を受ける事に、嫌悪感を覚える方は多いと思います。私も、多額の事件で政治家本人が知らないという事は無いと思います。(あり得ないとは思いますが)仮に、本当に知らなかったとしても、その秘書に任せられた政治家本人の責任は有り、その責任をとらせるべきです。

また、事件が発覚した後に政治資金収支報告書の修正がなされますが、修正をすればお咎め無しで終わっているケースには違和感を覚えます。私は、修正をすること自体にも何らかのペナルティが必要だと考えています。



最後に

祖父から生前、「政治家になるなんてお金を失うだけだから考え直せ」と言われた事を時々、思い出します。

確かに、特に国政ともなるとギリギリまで節約をしても、かなりの費用が掛かる事を今、痛感しています。例えば、広報費用です。僅かな選挙期間で私がどういう事を考えている政治家なのか広く理解していただくことは難しいと思いますので、定期的に政策チラシを作り、配るだけでもかなりの金額を既に使っています。SNS等を活用して、なるべく広報費を節約しようともしていますが、SNSで繋がっていない方には紙媒体で政策をお伝えさせていただきたいので、節約するにも限度があります。

私は、有権者の方々の判断に資する為に、普段からの発信は必要だと考えます。更に、当選した後であっても、その後の活動を報告するレポートを作成することは政治家としての報告義務だと考えます。その様な経費というものは一定発生してしまいます。

そして、殆どの方は本当に必要な経費であれば認めて良い、とお考えだと思います。しかし、今まで政治に関わる資金が何に幾ら使われているのか不透明であり、政治不信を招いてきました。

各支出が本当に必要な支出なのか判断をしていくにしても、まずは政治資金の透明性を限りなく高めていくという事が必要であり、その改革の先頭に立っていきたくて考えています。